

会 議 等 結 果 報 告 書

会議区分	会議 ・ 打合せ ・ 協議	文書番号	安教委第 5747 号
		決裁期日	令和 6 年 12 月 11 日
名 称	安平町給食センター運営委員会		
日 時	令和 6 年 11 月 13 日 午前・午後 1 時 0 0 分 ～ 2 時 0 0 分		
場 所	安平町学校給食センター会議室	傍聴者数	0 名
出席者	教育長、運営委員 6 名、事務局 1 名		
会議概要 (要点記載)	<p>1. 委嘱状交付 ・代表者に委嘱状を交付</p> <p>2. 教育長挨拶 ・ひとことご挨拶申し上げます。 ・食材の高騰が続いており、米不足にもなりました。子ども達の成長には食は欠かせない、食べたもので体が作られます。幼児期から 15 歳まで子ども達が健康でおいしい食とって体づくりをしてもらいたいと思います。 ・この運営委員会については、保護者の視点、また、子どもを預かる各学校の視点で、自由闊達な意見をいただきたいと思います。</p> <p>3. 会議成立 過半数の出席により成立</p> <p>4. 委員長選出 ・以前は町 P 連会長の充職として委員長を担っていただいていたのですが、町 P 連は 3 月に解散し今回は解散後初めての委員会となりますので、議事進行をすみやかに進めるために今年度に限り給食センターで委員長を選出しました。 委員長：皆さんの自由闊達な意見をいただきながら進行したいと思います。 ・委員長の選出については、あらためて皆様のご意見を伺って選出方法を決めていきたいと考えています。</p> <p>5. 確認事項 ・会議録を町ホームページに公開しています。 ・本日の内容は決をとるものではありません。 これより議事は委員長に進行していただきます。</p> <p>6. 議事 (1) 報告：「給食センター運営状況」（報告事項は、特に説明の必要な項目を抜粋して説明） ・令和 5 年度給食費収納状況報告 事務局員：資料の朗読説明。 給食費が未納となる世帯は、上下水道なども未納となっているケースが多いため、協同徴収に取り組んでいることもあり、未納分の徴収が進んでいます。</p>		

10月31日現在では

- ・ R 5 年度現年度分未納分 9 世帯 4 5 1 円→ 4 世帯 155, 460 円に減少。
- ・ R 4 年度迄の未納分徴収 233, 984 円 (R 5 年度の年間徴収額とほぼ同額) となっています。

・ 物資選定について

事務局員：地場産物の活用に力を入れており、可能な限り「町内産→道内産→道外産」の順で選定しています。

・ 調理配送委託業務について

事務局員：現在の調理・配送業務は一富士フードサービスが請け負っています。5年間の長期継続契約で何事も無ければ令和10年度までの委託となります。

・ SDGS について

事務局員：給食センターはオール電化のため二酸化炭素の排出が極めて少なく、地場産物の活用も積極的に行っているため運搬の際の二酸化炭素排出も抑えています。また、デジタル化によるペーパーレスや町営公園や町内の観光農園の家畜に残食の一部を餌として引き取っていただき、廃棄物の削減も行っています。

(2) 報告に対する質疑 (要旨を記載)

委員：2つあります。給食費未納によってどのような影響がありますか。また、配送業者の到着時刻については調整が可能かお聞きしたい。

事務局員：給食費未納は、安平町は給食会計(私会計)ではなく町の会計(公会計)となっているため未納の影響が食材購入に及ぶことはありません。ですが、未納は負担の公平性にかかわるため個別徴収を行い完納に取り組んでいます。次に配送業者の到着時刻については、定刻は学校職員の勤務時間内で設定されていますが、遅延することが無いように業者の配慮で早めに到着しており、定刻前に来たとしても定刻まで待つため特に対応は不要とされています。

(3) 提起：「安平町の学校給食について」

事務局員：これは、今後、給食費の改定を視野に入れた中で、現状をご理解いただくために提起するもので、決を採るものではありません。資料に基づいて説明します。

1. 安平町給食費の改定

合併後、何度か改定を実施していますが、平成21年度から令和4年度までの14年間は税抜金額を据え置いております。

令和5年度には10%増額改定しましたが、町長政策判断により保護者負担は国の交付金等を活用し据置としています。

2. 給食費や食材費の5年間の実績と推計(次ページ小・中学校給食費資料も参照)

① 給食費の推移

令和5年度に食材費を10%増額改定した際に、町長の政策判断により増額分にかかる保護者負担は軽減されました。

今後、食材費が増額になっても保護者負担の据置は継続される方向です。

② 主食、牛乳の推移

・米・・・米の価格は安定していましたが、今年8月頃からの店頭在庫の不足による影響もあり、令和7年度米価を10kg税込5,076~5,400円(1620~1,944円上昇)で調整中との情報があります。

・麺・・・令和5年度に大幅上昇(25.3%)しましたが、令和7年度は8~10%の値上げを検討中との情報があります。

・パン・・・令和4~5年度にかけて大幅に上昇(7.13~8.59%)、令和6年度で少し落ち着きましたが、今後も上昇すると思われます。令和7年度は3%の上昇を見込んでいます。

- ・牛乳・・・毎年微増であったものが、令和5年度から大幅に上昇（R5：8.8%、R6：7.16%）しているため、令和7年度においても7%の上昇を見込んでいます。

令和5年度の麺、牛乳の価格は、前年度に行った改定協議での想定を大幅に上回る値上げとなりました

③ 副食費の推移

- ・食材費から主食、牛乳を賄って、残った額が副食費となりますので、主食や牛乳の値上がりは直接大きな影響となります。
- ・令和5年度改定時には主食、牛乳は想定以上の価格上昇があり、その後も価格は上昇しています。
- ・令和7年度の副食費推計は小学生は147.23/日程度、中学性は193.04円/日程度となり、令和3～4年度（改定前）以下まで減少する見込みです。
- ・副食費は主食、牛乳の影響により改定前の水準以下まで減少することが想定されているうえ、そもそもの物価自体が上がり続けているため、今後はかなり厳しい状況になることが予想されます。

3. 事務局の給食費検討状況

- ① 5月 教育長就任時の検討課題として給食費の見通しを担当より状況説明。

→改定は早くとも令和8年度以降を見込んでいた。

- ② 6月 議会定例会一般質問における給食費無償化に対し教育長等が答弁。

→「保護者には応分の負担をお願いしていく」（※以前の議会においても町長等が同様の答弁）

③ 米不足が勃発

- ④ 9月 ・米不足の影響もあり、今年度の新米は1,000円/10kg（2～3割程度）上昇の見通し。

→令和8年度以降を見込んでいた給食費改定を令和7年度に前倒しも視野に。

- ・定例教育委員会において、給食費の状況を情報提供。

→令和5年度改定時の課題として、改定前年度に行われた改定協議における推計値と比べ、実際の改定時における価格上昇が想定以上となったことを説明。

3月に決定する麺等の主食や牛乳の価格は、結果的に改定協議時の想定を大きく上回り、小学生は25円増額したうち8.48円（約34%）、中学生は30円増額したうち12.61円（42%）が主食、牛乳上昇に食われた形になりました。

また、令和5年度改定時に実施した給食検討会における意見を、あらためて説明しました。

令和4年度実施給食検討会の意見ですが、2段目井物に関する事、3段目米飯関することについては、令和5年度以降に数回取り入れていきます。また、最下段の意見について、このような給食費改定に関する意見も寄せられておりました。従来のような「改定し行けるところまで行って、厳しくなったら改定議論を行う」方式であると、たまたまその年に運営委員になった保護者の負担が重すぎるため、今後、給食費改定のありかたを考え直すことの検討を始めたいと考えています。

教育長 : 補足をすると、食材費が高騰しており給食の質を維持するために食事購入費を増額しなければならず、保護者負担（給食費）は据え置き方針ですが、何パーセントあげれば維持できるのかというところです。この時期に決めても来春にどのくらい上がるのかわかりません。3.4月に価格が変わることを見越した中で、どの位が適正か事務局で検討しているところです。費用負担と質の維持というのが悩ましい問題と思いますが、子ども達に安全安心でおいしい給食を提供していきたいと考えています。

質を維持するということで、もっとより良くなにはどうしたら良いかということ
を、子ども達の声ですとか、保護者の目線でご意見をいただければと思います。

(4) 提起に対する質疑（要旨を記載）

委員 : 牛乳が約60円ということで、給食費に対する割合が多いと感じます。子ども園では牛乳（180ml）は園児には量が多いので飲みきれなくて無駄になります。10パックと紙コップに提供に変えると安価で無駄も少ないと思います。

事務局員 : 令和4年度の給食検討会でも同じ意見がありましたが、配るときに異物混入のリスクが高まったりコップの衛生管理に課題がありました。センターでも牛乳は高いという印象を持っていましたが、園の方では配る手間も出てくると思いますがいかがですか。

委員 : 特に負担はありません。牛乳を無くせれば一番いいと思いますが、どうやら難しいようなので、経費節減して本来の子ども達の食にお金を使えるようにするのが良いと思います。

事務局員 : 牛乳のシステムは良くできていて、学校給食摂取基準は牛乳を摂らないとクリアできません。給食で牛乳を摂らない自治体もありますが別の時間に摂っていますので、完全に無くすのはかなりハードルが高いと思われます。

10 パックの対応が出来るか改めて検討して、後で園長先生と相談させてください。

委員 : パンと麺の値段が高いこともあって、特にパンの日はおかずが少なく寂しく感じます。パンと麺を隔週にして費用を抑えることができませんか。

事務局員 : 子ども達にはパンを楽しみにしている子が割と多いと聞きますので、金額だけ考えて減らすのはと思うところがあります。また、パンは近隣町と共同で購入しているため、どこかがやめるとパンの価格（輸送費）が上がってしまうため一方的には決められない事情があります。麺についてはご飯の日を設けて回数は減らしているところですが、丁度、今日の試食は麺でしたが、中学生用で400円を超えていて60円ほど赤字になっている。麺だけで121円します。その赤字はご飯の日で調整することになります。

委員 : 自園調理分ではパンを出していないですが、何も問題はありません。

事務局員 : 栄養教諭が給食に立ち会っているので、背割パンやバーガーパンに対する子ども達の要望が結構あると報告を受けています。

委員長 : 試食した給食が400円するのかとびっくりしたところです。負担を増やしてでも品数とかを確保して質を維持してあげたいと思います。

事務局員 : 中学生の麺は121円で牛乳は60円ですので、それだけで181円を超えます。

安平の給食はかなり具を多くしており、特に野菜の量を多くしています。野菜は摂取カロリーなどに影響が少ないので減らす調整をしているところも見受けられますが、安平はふんだんに使っています。具の多さと満足度を両立させたいと考えています。

委員 : 安平の給食はおいしいと評判は聞いていますが、少しでも削減して子ども達に還元できた方が良いと思います。

教育長 : 私は5月に就任しましたが、これから考えていきたいのは、安平町は食をどうとらえるのか、これを軸として、こういったものを子ども達に食べて欲しいという物があつたらと思います。例えば、和食をとるのであればご飯を、いろいろな物をとるのであればバリエーション豊富になります。栄養価や地元食材だけでなく安平町の特色のある給食をこれから考えていければと思います。また、CFCIとして子どもの給食運営会議っていうのも良いと思います。今すぐには無いですが子どもの意見を聞くのも安平の特色かなと思います。

委員 : うちの子はご飯だけだと楽しみが無いと言っています。自分の子どもの時でもしたけど給食はモチベーションが上がります。それは給食ならではと思います。給食費が厳しいのはわかりますが、親心として楽しみも残してほしいと思います。

教育長 : ぜひとも子ども達の意見を聞きたいですね。

委員 : 子ども達は年齢を重ねると好みが分かれてきます。うちの子どもはご飯派とパン

派に分かれているので、パンをバリエーションに加えて欲しいと思います。

委員 : 給食費(保護者負担)の増額は難しいでしょうか。中学生では夕方の活動できるかと考えると大丈夫かなと心配になります。クラブチームになって活動時間が遅くなることを考えると給食は大事だと思いますが、全て給食ではなく保護者の負担を考えていかなければならないと思います。もう少し選択する余地があっても良いと思います。例えば子ども園は牛乳が無くても良いけど副食を出してほしいとか、中学生は技術家庭で栽培をするので自分たちの作った野菜を給食で生かすとか、子ども達の中で給食と結びついてくるとCFCIの理念に繋がったりとか、可能かどうかはわかりませんがクラウドファンディングとかで子ども達が呼びかけたりとか、意見表明するとか、いろいろ幅を広げて考えられると思います。

委員 : 牛乳が無くせないとしても回数を減らせませんか。週1回麦茶にするとか。

事務局員 : 逆に麦茶パックの方が高いです。

委員 : 例えば麺の価格が高いので、麺の日は飲み物を持参するとか。

事務局員 : 牛乳は金額も高く固定費となるため、前回の改定協議の時にも色々調べたりもしましたが、

① 給食センターは完全給食の施設として届け出ている。(主食、副食、牛乳セット)

② 学校給食摂取基準は牛乳を摂らないとクリアできない。

ために、牛乳を減らしたとしても、週、月単位で減らした分のカルシウムをどのように補うかになり、簡単な話ではありませんでした。

教育長 : もう1回考えてみますか。

保護者の皆さんには食材購入費を負担していただいています。センターの光熱水費は完全給食では地方交付税できているので、完全給食をやめると交付税が減らされることが考えられるので、減った時には誰が負担するのかということになります。私立では完全給食は週5日牛乳セットで提供しなくとも良い、公立はその辺を踏まえて検討が必要だと思います。現実的に牛乳を減らすのは難しいと思いますが、回数をへらすのはどうか、どこまで減らせるか、牛乳を無くしたいというより牛乳に持っていかれるのが厳しいという話です。

委員 : 牛乳は国の補助が入っているので難しいですね。20円台でしたか。

事務局員 : コロナ渦の学校閉鎖時に給食ではなく教員に昼食提供した際には、同じ価格では出せないと7円ほど差額を請求されました。

委員 : 例えばシチューの時に牛乳を出さないとか工夫できると思います。

事務局員 : 減らした分の栄養価(カルシウム)をどのように確保するかが課題です。

委員長 : 他にありますか。

事務局員 : 給食費と委員長選出については、あらためて委員会を開催しご意見をいただきたいと考えております。日程は別途ご案内させていただきます。

委員長 : 以上、案件は全て終了しましたので、進行を事務局にお返しします。

7. 閉会

事務局員 : 全体をとおして何かございますか。

以上をもちまして、給食センター運営委員会を終了します。本日はお集まりいただきありがとうございました。